

ユニット名	陶芸部
代表者	渡部 有沙
達成に資するSDGs目標	4.質の高い教育をみんなに 11.住み続けられるまちづくりを 12.つくる責任つかう責任 14.海の豊かさを守ろう 17.パートナーシップで目標を達成しよう
活動概要	7/24・25 土曜夜市出店 広く一般の方に陶器とお茶の良さを味わってもらうために、島大不昧流茶道部の協力のもと、陶芸部で制作した茶碗に淹れた抹茶を来場者に販売する。 夏季休暇 島大公開講座にて陶芸体験講座の開講 廃れつつある陶芸文化に対し、受講者、特に児童が興味関心を持つ機会を設ける。そして、自分の力で制作した陶器を使って食事をするすることで食への感謝の念や物を大切に使う意識を高めてもらうことも目指す。 11/11・12 大学祭出店 茶碗や和菓子皿の美しさに親しんでもらい、その延長で茶の湯文化にも興味をもってもらうために、抹茶や和菓子と相性がいいと思う茶碗・菓子皿の形・色についてのアンケートをSNSで実施し、投票結果をもとにデザインを構想し、陶器の販売を行う。
成果物の公表予定、社会への波及効果	活動のコンセプトは、「茶の湯のまち松江の魅力発信と陶芸文化の復興」である。 そして、このコンセプトのもと、SDGsの達成を目指す。 陶芸体験講座は「4.質の高い教育をみんなに」に関連しており、授業外で主体的な学習の機会を受講者に与え、受講者特に学生に興味関心の幅を広げてもらうことを目的とする。 また、すべての活動は「11.住み続けられるまちづくりを」に関連しており、松江の魅力の再認識や地域住民との連携を通じ、松江での長期的な生活を視野に入れてもらうことを目的とする。 さらに、「12.つくる責任つかう責任」、「14.海の豊かさを守ろう」もすべての活動に関連しており、活動を通じ、陶器の持つ温もり、そして陶器が食事を彩る力を発信することで、大量生産・大量消費型社会の転換、プラスチック製品の削減を訴える。 土曜夜市の出店は、「17.パートナーシップで目標を達成しよう」に関連しており、地域住民・教員・学生の垣根を越えて、地方の人口流出問題に対し協力して向き合う契機になると考える。